

## 探究学習のポイント Part-3

# ふたつの部門で 地元を再発見

シンプルに

的確に

観光甲子園のコンテストに応募される高等学校教職員のみなさまに向けて探究学習のポイントを解説する全3回のレポートです。指導・サポートの参考資料としてご活用ください。



## 地域探究部門

生まれ育った町以外に何度も訪れるお気に入りの場所を探す「**第2のふるさとづくり**」。地方の過疎化と都市の過密化。伝統産業や一次産業の担い手不足など全国の多様な地域課題を観光産業で解決するプランを計画してください。

# あなたの地元が遠くの誰かの 第2のふるさとになる！

観光庁では2022年度から「何度も地域に通う旅、帰る旅」の推進で従来の観光産業が生み出してきた交流人口に加えて**関係人口**の創出を目指す**第2のふるさとづくりプロジェクト**に取り組んでいます。この関係人口とは地域や地域の人々と多様に関わる人々を指す言葉で、少子高齢化や過疎化が進む地方圏の活性化に向けて**総務省**が取り組む施策です。このふたつのキーワードの内容と関係性を探究してください。

第2のふるさと

構造的理解

関係人口

深層理解

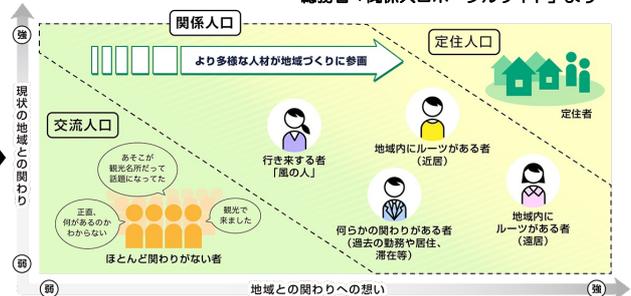
観光庁「第2のふるさとづくりプロジェクト」公式ページ



第2のふるさととは何か？そのニーズが高まってきた深層解説が各種調査でまとめられており、全国各地の具体的事例が紹介されています。

[www.mlit.go.jp/kankochou/anehwometown](http://www.mlit.go.jp/kankochou/anehwometown)

総務省「関係人口ポータルサイト」より



観光以上定住未満と例えられる関係人口の位置付けを現状の地域への関わりと地域との関わりへの想いの2軸で解説。「風の人」というキーワードに注目しましょう。

[www.soumu.go.jp/kankeijinkou](http://www.soumu.go.jp/kankeijinkou)



# あなたの町から見上げる空に どんな未来を描きますか？

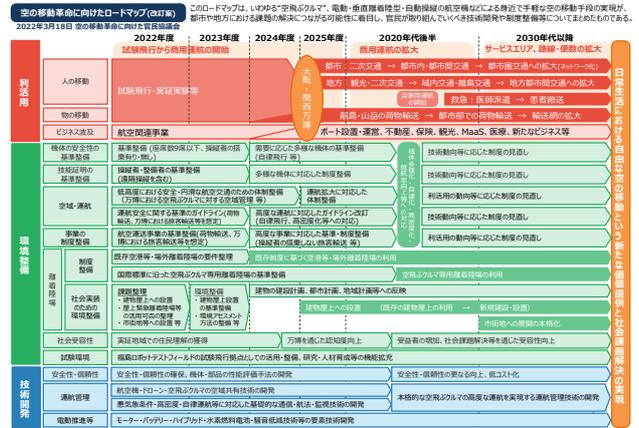
## 「空飛ぶクルマ」空飛ぶクルマ部門

国土交通省と経済産業省の横断組織である空の移動革命に向けた官民協議会が空飛ぶクルマ活用社会の実現に向けて民間企業と協力しながら制度整備や市場形成に向けた検討を進めています。右図は2022年3月18日に発表されたロードマップで官民連携で取り組んでいくべき技術開発や制度整備等について細かくまとめられたものです。国をあげて進む空飛ぶクルマ産業に関する各種情報は関連省庁のホームページで公開されていますから是非チェックしてみてください。

構造的な理解

深層理解

大阪・関西万博の開催を契機に注目を集める「空飛ぶクルマ」産業。世界各地で進むプロジェクトを参考に地元密着型の観光メニューや新たな発想による移動ビジネス、空路を活用した社会課題解決などを考えてください。



空の移動革命に向けたロードマップ(改訂案) = 出典: 経済産業省



## HYOGO 空飛ぶクルマ研究室

観光甲子園の空飛ぶクルマ部門は2022年に「空飛ぶクルマの振興を通じた地域創生の取組における連携協定」で兵庫県に誕生した「HYOGO空飛ぶクルマ研究室」の協賛を受けて開催しております。公式ページから空飛ぶクルマに関する様々な情報を見ることができます。

公式サイトはこちら>>

[www.hyogoaam.jp](http://www.hyogoaam.jp)



空飛ぶクルマ  
部門

## = 年間スケジュール =



6月1日からフェーズ①の予選がスタートし7月末が提出物の締め切りとなっております。その後のフェーズ②【準決勝】、フェーズ③【決勝】に向けたスケジュールは右図のようになっております。エントリーいただいた高等学校担当教職員の皆様には新たな情報を随時メール配信させていただきます。

公式サイトはこちら>> [www.kankokoshien.com](http://www.kankokoshien.com)

日程	項目
5/13 (月)	エントリー受付開始
5/31 (金)	エントリー受付終了
7/25 (木)	予選企画書受付開始
7/31 (水)	予選企画書受付終了
8/20 (火)	予選通過チーム発表
11/4 (月)	準決勝事業計画書受付開始
11/9 (土)	準決勝事業計画書受付終了
11/29 (金)	決勝進出チーム発表 ※各部門5チーム
2/2 (日)	決勝大会 ※全国オンライン中継

## 探究学習のポイント Part-3

前2回のレポートも含めてご確認ください